身近な自然再発見

…人間と共生する昆虫たち…

12 春の女神と呼ばれても……

▲ みちのくに春の到来を告げるヒメギフチョウ

みちのくにも遅い春が訪れる4月初め、雪がとけた林道に淡い陽ざしを浴びて黄色と黒のダンダラ模様のチョウが飛び出します。春の女神と呼ばれるヒメギフチョウです。

このチョウは夏から冬までを踊（さなぎ）のままで過ごし、春先だけに姿を見せます。まるで春を告げる妖精のように。

私が中学生の頃は角田へ通じる洞門があった町内稗田前にもいました。村田町菅生や白石市鉢森山などを始め、県内各地で普通のチョウでした。でも、今はもうどこで聞いても「見られなくなった」という悲しい話ばかりです。これでは文字通り、ヒメギフエレジー（悲話）ですね。

この半世紀あまり、高度成長のなかで多くの草原や雑木林が開発されて住宅などに変わりました。結果的に多くのチョウや虫が姿を消しました。ヒメギフチョウも「春の女神」と呼ばれて手放しでは喜んでいないはずです。

もちろん開発だけでチョウがいなくなったわけではありません。それでも、人間の生活とチョウたちの生き残りのどちらを優先させるのか？これは二者択一では解決が難しい問題です。

わが町にはほかの町には無い昆虫公園があります。こうした施設も活用しながら虫と共存できる町づくりを目ざすことが消え去ったヒメギフチョウへの鎮魂歌になってくれたら……と願うばかりです。

次回は、ウスバシロチョウの名前の話です。

元金小校長、昆虫教室（町教育委員会主催）講師　鈴木健司さん

毎月6人に500円の図書カードをプレゼント！

だれでもイラストレーター

◀「アリス」

◀「シーナちゃん」

◀「マロン」

◀「アルビノ」

◀「さくらっきー♡」

◀「はるみん」

進級や進学で環境が変わっても、このコーナーを引き続きよろしくね。

ひなあられひし餅並ぶデパ地下に春を纏いてコーヒーを飲む　菅野美榮子
赤き実を八つ九つ頬ばりて南天の枝をゆらすヒヨドリ　大友道子
班長の仕事も残り一ヶ月雪の悪路や文書の重さよ　水戸彦次
ひっそりと建ち並びゐる住宅街に何ひそみゐる風花の舞ふ　水戸玲子
若き日は雛壇飾り愛でしかど戦災に失せ思ひ出のみに　丸山ひさ子
捲き置きしりんごの皮を啄める尾長の群を声ひそめ見つ　小成田忠雄
幾度も小枝挿し替へろう梅の香りたのしむ心ゆくまで　小成田紀代子
臘梅の一枝を賜ひ乾きたるわが起き伏しの潤ひてゆく　星　和貴
白石川に霧立ち昇り里山の墨絵のごとき如月の朝　加藤倫子
もう三才恐がりだったみいちゃんが「トイレは一人で」と凛として言う　菅井加寿子
こうこうと声残し飛ぶ白鳥を一人さびしく立ちて見送る　加藤てる
一様に白きマスクを外す際瞬時に笑顔の青年となる　髙城和子

わがまち文芸道場

ろう梅と福寿草咲きわが庭はひかりの満ちてイエロースタート　小原チハル
かおかおと啼きつつ白鳥は北へ発つおもむろに列を整えながら　本木定子
雨水過ぎはださす風はつめたくも氷の下行く水の音立つ　佐藤睦子
星空の美しさ説きし師の君の顔おぼろにてオリオン座仰ぐ　佐藤昭子
終戦後母涙して歌い居し「母と兵隊」ＣＤで聴く　小原啓作

【大河原短歌会】

存分に貌（かほ）鳥鳴いて殉死塚　カツオ
春うらら新聞二紙に時を過ぐ　啓子
春のバス缶珈琲の香り満つ　せつ子
神鶏に触れて艶めく春の光（かげ）　智賀
啓蟄や胸ポケットに鳴る電話　裕子
楢山の春を呼びだす鉦の音　房枝
春泥や天神様の笙を聞く　芳子
縄文人現はれさうな野焼かな　三山

【逢河俳句会】

えずこホール・わくわく・シアター・こらむ　アートの種まき

英国地域劇場事情〜イギリスの地域劇場リポート

＃６　シェフィールド・シアター【1】

クルーシヴル劇場、右はライシュン劇場

今回ご紹介するシェフィールド・シアターは、３つの劇場（建物は２つ）から成り立っています。

一つはライシュン劇場で、1850年開館。1960年に一度閉館しましたが、1990年に改修工事を行い再開しました。オーデトリアムは、古き良き時代の劇場の雰囲気をそのまま残しながらも、機能だけリファインしたという感じで、とてもいい感じの劇場でした。もう一つが近代的な建物で1970年に開館。この中にクルーシヴル劇場とスタジオ劇場があります。

それぞれ演目で性格分けを行っており、ライシュン劇場では、ロンドン・ウェストエンドなどからくる商業演劇等を買い公演として上演、収入元としています。クリスマスのみ特別企画の制作公演を上演しています。

新しい二つの劇場は制作劇場であり、特にスタジオ劇場は200席ほどの空間で、実験的な作品にトライしています。ミッションは、「私たちは、ライヴアートが、人々の生き方を根底から変えていくと信じています。私たちが提供する、上質で多様で、市民生活を拡張していくプログラムで、シェフィールド、ひいては遠方に住む人々も含め、笑いと涙と深い思索を喚起し引き出します」とあります。

シェフィールド・シアターの収入は、チケット収入が59%、レストランの売り上げが13%で実に収入の72%が自主財源。公的補助は16%で今回視察した劇場のなかでは最も低くなっています。ライシュン劇場が商業的な演目で売り上げを確保していることがその大きな理由と思われますが、他の地域劇場に比べて足腰が強いということがいえるでしょう。そして、2013〜2014年2年連続ザ・ステージアワードによりベスト地域劇場に選ばれています。2年連続ベスト地域劇場とは本当にすごいことです。

問えずこホール☎52-3004 URL http://www.ezuko.com

ヘルスメイト大河原の　ベジfullキッチン　野菜たっぷり簡単レシピ

平成26年度大河原町食育スローガン「家族で野菜のおかずをひと皿増やし」

アスパラガスのきんぴら

【材　料（４人分）】写真は1人分

アスパラガス６本、赤トウガラシ（小口切り）少々、サラダ油小さじ１
調味料（みりん小さじ１、しょうゆ小さじ１）
かつおぶし2グラム

【作りかた】

①アスパラガスは根元の堅い部分を落とし、三角のはかまを取り、３〜４ミリ厚さの斜め切りにする。
②熱したフライパンにサラダ油をひき、①と赤トウガラシをいためる。
③調味料を加えて汁気がなくなるまでいため、最後にかつおぶしを入れて混ぜ合わせ、出来上がり。

【データ（１人分）】

◆エネルギー／21キロカロリー
◆塩分／0・2グラム

レシピ担当　高橋　勝子さん（稗田区）

ピリッと甘辛い味付けと、アスパラガスのシャキシャキ感がマッチして、お弁当のおかずにも合います。新生活のお弁当にいかがですか。